

通し 番号	事象	No	評価書分類	機種分類	機器分類	審査 ガイド 項目	No.	ページ	質問事項	回答 終了日
1	2相ステンレス 鋼の熱時効	1	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙1	設定理由の根拠に用いられているNUREG/CR-4513 Revision 2, 2.2.2.2.2においてASTM A800/A800M法はフェライト量が20%を超えるCASS材に対しては、過小評価される事が記載されている。代表評価機器のフェライト量は20%を超えているが、ASTM A800/A800M法を用いることの妥当性を説明すること。	
2	2相ステンレス 鋼の熱時効	2	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙1	NUREGではHullの式によるフェライト量の算出方法も紹介されている。Hullの式を用いてフェライト量を算出し評価した場合と、ASTM A800/A800Mによる評価とどちらが保守的になるか確認している事をしめすこと。	
3	2相ステンレス 鋼の熱時効	3	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙8	ANLモデルの式と係数を記載すること。	